

奈良県母子保健行動計画 案

目指すべき方向性	具体的な取組策	今後取り組むべき対策	行動主体	指標	現状(H23年度)	26年度 目標	データ根拠
母性の保護・尊重と不妊への支援充実を目指す	母子健康手帳交付時からのハイリスク者のケアが実施できるよう市町村へ支援	⇒	県・市町村	母子健康手帳交付時の保健師による妊婦への面接を実施した市町村数	39市町村	39市町村	市町村実績報告
	母子健康手帳交付時からの継続支援	⇒	県・市町村	妊娠届出:11週未満提出数	92.2%	100%	市町村実績報告
	妊婦健康診査に関する調整・質の確保	⇒	県・市町村	妊産婦死亡数、率 妊婦健診未受診者(飛び込み出産)数	0(H22) 11件	0を維持 減少	市町村実績報告
	周産期医療体制の整備	⇒	県	産婦人科医療機関・助産所数	36	現状維持	
	周産期のメンタルヘルス対策	⇒	県・市町村	産科医療機関等との周産期医療ネットワーク会議を実施している市町村数	12市町村	39市町村	母子保健推進会議実績
	不妊治療対策の充実	⇒	県	特定不妊治療助成事業における助成件数 不妊専門相談センター事業相談件数	1169件(奈良市含む) 110件	増加 増加	県実績 県実績
小児保健医療水準の維持向上を目指す	医療機関と保健所・市町村保健センターの連携を推進 市町村母子保健の実態と望ましい基盤整備への提言	⇒	県	周産期死亡率	全国4.2 奈良県3.9(H22)	最高値維持	母子統計
	母子保健運営協議会運営	⇒	県	乳児死亡率	奈良県1.3	最高値維持	母子統計
	乳幼児健康診査及び予防接種の質の維持・向上を支援	⇒	県・市町村	低出生体重児率	全国8.5 奈良県7.7(H22)	減少傾向	母子統計
				極低出生体重児率	奈良県6.7	減少傾向	母子統計
				乳幼児健康診査(4か月児、1歳6か月児、3歳児)受診率	96.8%(4か月児)	増加	母子統計
				予防接種率		増加	
				妊婦の喫煙率	5.7%	なくす	県健康づくり推進課調査
				妊婦の飲酒率	2.9%	なくす	県健康づくり推進課調査
	新生児聴覚検査や先天性代謝異常等検査の実施(タンデムマス導入)に関する体制整備	⇒	県	聴覚検査実施率	46.7%	100%	県実態調査(H24年実施)
				聴覚検査フォローアップ率 先天性代謝異常検査結果のフォローアップ率			
	HTLV-1母子感染対策協議会(県母子保健運営協議会)実施・普及啓発・保健指導・カウンセリング体制の整備・強化、研修の開催	⇒	県	HTLV-1に関する研修等の受講等、情報収集に努める市町村数 HTLV-1検査結果のフォローアップ率			
	専門職員の技術の向上を図る(NICU研修)	⇒	県・市町村	低体重児発生件数、養育医療件数、未熟児訪問件数、同行訪問件数	未熟児訪問率 81.7%	未熟児訪問 実施率100%	保健所実績報告
小児慢性特定疾患治療研究事業の適正な実施	⇒	県	小慢件数			県実績	
養育・育成医療給付事業	⇒	県(25年度～市町村)	養育医療訪問件数				
保健所を中心とした母子保健ネットワーク構築(在宅療養)	⇒	県・市町村	保健所毎のネットワーク会議開催件数	3	増加	保健所実績報告	
新)地域健康危機管理在宅養育支援事業 災害時小児在宅医療対策マニュアル作成(対象者選定など関係者の合意を図る)	⇒	県・市町村	人工呼吸器装着等在宅養育訪問率		増加		
家庭と地域においてSIDS(乳幼児突然死候群)、乳幼児の事故等の予防対策推進、知識の普及	⇒	県・市町村	不慮の事故死亡数(0歳、1歳～4歳、5～9歳、10～14歳、15～19歳)(半減) 乳幼児のSIDS、幼児死亡 事故防止に取り組む市町村数	0歳:0件、1-4歳:0件、5-9歳:0件、10-14歳:2件、15-19歳:4件 SIDS(0-9歳):1件 37市町村	半減 半減	母子統計 母子統計 国の母子保健事業の実施状況調査	
子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の解消を目指す	妊娠期からの医療機関・保健機関の連携に関する研修会開催	⇒	県・市町村	虐待死亡件数、相談件数		虐待死亡0	
	保健所ごとの産科医療機関と保健機関とのネットワーク構築(妊娠期連携)	⇒	県・市町村	未熟児連絡票による要訪問児ケース把握率		100%	
	新)ハイリスク集団に対する要支援者ネットワーク構築(県広域)	⇒	県・市町村	市町村乳児健診未受診者確認率	88.7%(4か月児)	100%	市町村実績報告
	支援を要する妊婦のフォロー	⇒	市町村	ハイリスク妊婦の訪問率 妊娠届出時保健師の面接実施率		増加 100%	市町村実績報告 市町村実績報告
	妊娠期のプログラム開発・普及支援実施	⇒	県・市町村	妊娠期のプログラム実施市町村数	4市町村	増加	子育て支援課
	ハイリスク母子に対して保健師、助産婦等の周産期からの家庭訪問等による育児サポート	⇒	県・市町村	産科医療機関等との周産期医療ネットワーク会議を実施している市町村数	12市町村	39市町村	母子保健推進会議実績
	市町村の乳幼児健康診査の場における母親の育児不安や親子関係の状況の把握	⇒	県・市町村	父親の育児参加推進に取り組んでいる市町村数		39市町村	
	乳幼児健康診査の未受診児の家庭について保健師等による訪問指導等を行うなどの対応の強化を支援	⇒	県・市町村	母子保健担当者研修会への参加者数(累計)	98人	増加	県・保健所実績報告
	新)事例検討会をとおして母子保健対策に関するスキルアップ及びケース理解を深める	⇒	県・市町村	事例検討会を実施する市町村数		39市町村	県・保健所実績報告
	母子保健事業のあらゆる機会において、様々な観点から養育支援を必要とする家庭を早期に発見し、適切な育児支援が行われるよう情報提供や助言	⇒	県・市町村	妊娠期からの支援の重要性について「妊産婦・未熟児母子保健の対象を理解する」をテーマに研修会への保健師参加者数	47人	増加	県・保健所実績報告
思春期保健対策の充実を目指す	保健所による教育分野、医師会等と連携した思春期保健対策の推進(健康教育、支援検討会等を開催し、課題の明確化と効果的な支援対策を構築)○思春期健康教育実施○思春期性教育(ピアカウンセラーによるピアエデュケーション等を取り入れた取り組み)○思春期性感染症教育	⇒	県・市町村	若年出産件数、妊娠中絶率 性感染症発生件数(10代) 10代の自殺率 保健所による健康教育等実績数 思春期の課題に対する学校への専門家の派遣数	10代の人工妊娠中絶率 4.5(人口1000人あたり) 定点あたり報告数 1.1(10～14)7.5(15～19) 実数(5件) 21回 1230人 16校	減少傾向 減少傾向 減少傾向 増加 40校	NESID(感染症サーベランスシステム) 保健所実績報告 保健所実績報告
	市町村や学校保健と連携しながら、子どもや保護者に対する相談支援の充実	⇒	県・市町村	市町村による思春期保健対策に取り組む市町村数	13市町村	39市町村	国の母子保健事業の実施状況調査
	市町村思春期保健対策推進の支援	⇒	県・市町村	10代の喫煙率 10代の飲酒率 思春期やせの割合?	中1 男:1.6% 女:0.9% 高3 男:8.6% 女:5.3% 中3 男:8.0% 女:9.1% 高3 男:21.0% 女:18.5%	なくす なくす 減少傾向へ	全国データ(中1・高3) 全国データ(中3・高3)
	奈良県妊娠なんでも110番の電話相談窓口設置	⇒	県	相談件数	158件	増加	県実績報告

根拠法令:地域保健法、母子保健法、健康増進法、次世代育成支援対策推進法、障害者自立支援法、